

にこにこ いっぱい だいさくせん！

本単元で育成する資質・能力

「探究力」「思考力・判断力・表現力」

1 日時 平成29年9月14日（木）

2 学年 第1学年 22名

3 単元観

本単元は学習指導要領生活科の内容（2）を受けて設定した単元である。

(2) 家庭生活を支えている家族のことや自分でできることなどについて考え、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活することができるようにする。

児童にとって、家族はかけがえのない存在であり、家庭はすべての活動の拠点である。しかしながら、とても身近な存在であるがゆえに、家族にしてもらっていることがあたりまえで、そのありがたさや大切さを感じたり、家族の一員として自分でできることに気付いたりすることはあまりないと思われる。本単元では、「にこにこ」をキーワードに、「にこにこ」探しから始める。まず家庭で自分が「にこにこ」するときにはどんな時か思い出し、「にこにこ」が増えるとうれしいことに気付かせる。次に、家族の「にこにこ」を見付け、それを自分の「にこにこ」と関連付けていくことで家族のやさしさや思い、大切さに気付かせていく。そして、家族の「にこにこ」のために自分でできることを見つけ、実際に活動する場を設定する。最後に、活動を振り返り、家族のよさに気づき感謝の気持ちを国語科の書く活動とつながりをもたせながら表現したり、報告会に向けて絵やジェスチャーなどで表現したりするとともに、役割を果たすことができるようになった自分に気付かせることのできる単元である。また、今後の自分の生活について考え、家族の一員としての自覚をもって生活することができる考える。

4 児童観

省略する

児童の実態を把握するために質問紙調査を行った。（児童22名）

資質能力	質問紙調査内容・レディネステスト	結果（人数）			
		とてもそう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
探究力	授業を受けるとき、「なぜだろう」「やってみたい」と思っています。				
思考力 判断力 表現力	授業では、自分の考えを進んで伝えています。				
地域 貢献力	友だちや、地域の人が悩んでいたら助けてあげたり、応援したいと思います。				

5 指導観

指導にあたっては、以下の工夫を行う。

(1)主体的・対話的で深い学びに向けた指導の工夫

- ・自分で自分や家族の「にこにこ」を探したり、「にこにこだいさくせん」を実行したりする。
- ・一人一人の気付きを交流する場を繰り返し設定することで、自分の思いや気付きを自覚するとともに、友だちの思いや気付きを共有し、新たなめあてをもち取り組むことで、気付きの質を高めていく。

(2)振り返り場面の指導の工夫

- ・家族と一緒にしていることや、してもらっていることを振り返り、家族のことや自分でできることについて考え、家族のために役に立つ喜びと自信を体感させる。
- ・家族からのメッセージをもらい、振り返りの手助けとする。

(3)児童の実態に合わせた指導の工夫

- ・互いに話をしたり聞いたりする場面を繰り返し設定し、話すことに慣れるとともに、相手のつたえたいことを聴こうとする気持ちをもたせる。
- ・同じような活動を繰り返し行うことにより、活動に慣れながら、児童が少しずつ気付きを増やしていけるようにする。

6 単元で育てたい資質・能力及び本単元の目標と評価規準

(1) 目標

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
家庭での生活や家族のことについて、興味・関心をもって取り組み、自分にできる役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活しようとする事ができる。	家族のことや自分でできることを考え、実践したことをまとめた表現したりできる。	家庭生活は、家族の温かさや家族の仕事によって支えられていることや、自分も家族の一員として役に立っていることに気付くことができる。

(2) 評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
<ul style="list-style-type: none"> ・家族のことや家庭での自分の生活を見つめようとしている。① ・家族のために自分でできることをしようとしている。② ・家族の一員として、継続的に自分の役割を果たそうとしている。③ 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活を振り返り、家族のことや自分のことについて考えている。④ ・自分でできることや家族が喜ぶことを見付け、家庭生活が楽しくなるように工夫している。⑤ ・家庭生活をよりよくするために取り組んできたことを振り返ったり、交流したりしている。⑥ ・家庭における自分の生活を見直している。⑦ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分でできることや自分の役割があることに気付いている。⑧ ・家庭生活には、それぞれの果たしている仕事や役割があることに気付いている。⑨ ・家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付いている。⑩ ・自分も家族の一員として役に立っていることに気付いている。⑪

7 単元計画 (12 時間)

次	学習活動	児童の思考の流れ	評価			
			関	思	気	
1	課題設定(1) 「にこにこ」するのはどうしてか考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・みんな「にこにこ」しているな。どうして「にこにこ」しているのかな。 ・うれしいからかな。 		○		◇「にこにこ」している様子に関心をもち、どうして「にこにこ」しているのかを考えている。④ (行動観察・発言・にこにこカード)
	情報収集・整理分析(3) 自分や家族の「にこにこ」について調べて交流する。 (本時4/12)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が「にこにこ」しているのは、どんな時かな。 ・弟と遊ぶとき、楽しいよ。 ・家族が「にこにこ」しているのは、どんな時かな。 ・お手伝いをした時、お母さんがにこにこになるよね。 ・おじいさんは肩たたきをすると喜んでくれるよ。 ・家族の「にこにこ」について分かったことや思ったことを伝えたい。友達が調べたことも聞いてみたいな。 	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ◇家族のことや家庭での自分の生活を見つめようとしている。① (行動観察・発言・にこにこカード) ★家族が「にこにこ」している時はどんな時か興味をもち、進んで調べようとしている。【探究力】 ◇家庭生活を振り返り、家族のことや自分のことについて考えている。④ (行動観察・発言・にこにこカード) ◇自分でできることや自分の役割があることに気付いている。⑧ (行動観察・発言・にこにこカード)

2	<p>実行・整理分析(4) 「にこにこだいさくせん」を実行する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「にこにこだいさくせん」の計画を立てよう。 ・「にこにこだいさくせん」をしよう。(家での活動) ・「にこにこだいさくせん」について報告し合おう。 ・別の「にこにこだいさくせん」がしたいな。 ・2回目の計画を立てよう。 ・2回目の「にこにこだいさくせん」をしよう。(家での活動) ・2回目の「にこにこだいさくせん」について報告し合おう。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ◇家族のために自分でできることをしようとしている。② (行動観察・作戦カード) ◇1回目の「にこにこだいさくせん」について様子や感じたことを報告しようとしている。(発言・作戦カード) ⑥ ◇自分でできることや家族が喜ぶことを見付け、家庭生活が楽しくなるように工夫している。⑤ (行動観察・作戦カード) ◇家庭生活には、それぞれの果たしている仕事や役割があることに気付いている。⑨ (発言・作戦カード)
3	<p>実行(1) 「もっとにこにこだいさくせん」を実行する。</p> <p>パフォーマンス課題 まとめ・創造・表現(3) 「もっとにこにこだいさくせん」の報告書を書いて報告する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと「にこにこだいさくせん」をしたいな。もっと「にこにこだいさくせん」の計画を立てよう。 ・もっと「にこにこだいさくせん」をしよう。(家での活動) ・もっと「にこにこだいさくせん」について報告し合おう。 ・これまでの活動を振り返ってカードにかこう。 ・「にこにこだいさくせん」の報告会をしよう。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ◇家族の一員として、継続的に自分の役割を果たそうとしている。③ (行動観察・発言・作戦カード) ◇家庭生活をよりよくするために取り組んできたことを振り返ったり、交流したりしている。⑥ (行動観察・発言・作戦カード) ◇家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付いている。⑩ (行動観察・発言・作戦カード) ◇家庭における自分の生活を見直している。(行動観察・発言・カード) ⑦ ◇自分も家族の一員として役に立っていることに気付いている。⑪ (行動観察・発言・カード) ★自分が考え取り組んできたことについて振り返り報告している。 【思考力・判断力・表現力】

8 パフォーマンス課題

もっと「にこにこ」を増やすために、「もっとにこにこだいさくせん」をしました。「もっとにこにこだいさくせん」のことを振り返って、参観日の時、友だちの家の人にもわかるようカードにかきましょう。

9 パフォーマンスの評価基準 (ICE ルーブリック)

	I	C	E
--	---	---	---

評価基準	家庭における自分の生活を見直している。	家庭における自分の生活を見直し、自分も家族の一員として役に立っていることに気付いている。	家庭における自分の生活を見直し、自分も家族の一員として役に立っていることに気づき、家族が喜ぶことをめざして取り組もうとしている。
反応例	わたしは、お風呂掃除をしました。	わたしは、お風呂掃除をしました。お母さんがありがとうと言ってくれました。おばあちゃんも気持ちがいいねと言ってくれたからうれしかったです。	わたしは、お風呂掃除をしました。お母さんがありがとうと言ってくれました。おばあちゃんも気持ちがいいねと言ってくれたからうれしかったです。友だちがお風呂の床もごしごしするのいいと言っていたから、やってみたいです。これからも続けたいです。

10 本時の展開

(1) 本時の目標 家族の「にこにこ」について分かったことや思ったことを交流することを通して、自分でできることや自分の役割があることに気付くことができる。

(2) 準備物 にこにこカード、「にこにこやさん」の手順カード

(3) 本時の展開

学習活動	主な発問と児童の反応予想	指導上の留意点 ☆児童への支援	評価基準 (評価方法)
つかむ 2分	<p>1 家での取材活動の様子を思い出す。</p> <p>T:家の人「にこにこ」集めをしましたね。たくさんの「にこにこ」を集めることができましたか。</p> <p>C:たくさんあったよ。</p> <p>C:いっぱいあるよって話をしてくれたよ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭で取材したときの様子を想起させ、学習への意欲をもたせる。 	
さぐる 15分	<p>2 課題を確認し、取材してきたことを交流する。</p> <p>T:家の人「にこにこ」はどんなときに「にこにこ」されるのでしょうか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>家の人「にこにこ」はどんなときかな？</p> </div> <p>T:まずは「にこにこやさん」を開いて、みんなの家の人「にこにこ」のお話を聞き合ひましょう。</p> <p><「にこにこやさん」のやり方></p> <ol style="list-style-type: none"> ①おとなりさんと「にこにこやさん」になる順番を決める。 ②おとなりさんと「にこにこやさん」の練習をする。 ③「にこにこやさん」開店。(1回目・2回目) <p><「にこにこやさん」の約束></p> <ul style="list-style-type: none"> ・店の人:「にこにこやさん」は、お客さんがよくわかるように、ゆっくり丁寧に話す。 ・お客さん:お話を最後まで聞いてから自分が思ったことを伝える。 ・時間いっぱいよく聞いて、お気に入りの「にこにこ」を見つける。 <p>*「にこにこやさん」タイム</p> <p>C:わたしのお父さんは、わたしが弟の面倒を見ていたら、「にこにこ」になります。おぼくのお母さんも妹の面倒を見ていたら「にこにこ」になるよ。</p> <p>C:ぼくのお母さんは、時間割を自分でしたとき「にこにこ」になります。おぼくのお母さんも「にこにこ」して「かっこいい1年生だね。」と言ってくれるよ。</p> <p>C:わたしがお風呂掃除をしたら、お母さんが「にこにこ」して「ありがとう。助かるな。」と言ってくれます。お風呂掃除ができるんだね。</p> <p>C:おばあちゃんは肩たたきをすると「にこにこ」して「ありがとう。」と言ってくれます。うちのおじいちゃんも喜んでくれたよ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「にこにこやさん」の手順や約束について、視覚的にわかるよう提示しながら説明する。 ☆店の回り方を示しておき、その順に店を移動するようにする。 ☆話をきちんと聞いていない児童には、約束を意識して行動するよう促す。 	
ねりあう 20分	<p>3 取材して分かったことを全員で確認し合う。</p> <p>T:友だちからどんな「にこにこ」を買いましたか。また、どうしてその「にこにこ」を買ったのか発表しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全員のカードを貼ることで、「にこにこ」がいっぱいあることを感じられるようにす 	

<p>ふりかえり 8分</p>	<p>*お手伝いをする C: タオルたたみをする、「にこにこ」して「助かるよ。」と言ってくれます。 T: お手伝いをしてもらおうと、家の人はどうして「にこにこ」になるのかな。 C: 家の仕事が早く終わるからうれしいのだと思います。 C: お母さんの仕事が減って楽になるからだだと思います。 *自分のことを自分でする C: 家に帰ってすぐに宿題をして時間割をしたら、「さすが1年生だね。」と「にこにこ」顔でほめてくれました。 C: おもちゃの片づけを自分でがんばっていたら、お母さんが「にこにこ」になります。 T: みんなが宿題や時間割を自分でしたり、後片付けをきちんとすると「にこにこ」になるのかな。 C: 小学生になったと思ってうれしいのだと思います。 *楽しくなることをする C: おじいちゃんやおばあちゃんの肩たたきをしたら「にこにこ」になりました。 C: 妹と弟の面倒を見ていたら「にこにこ」になりました。 T: 家の人はどうして「にこにこ」になったのでしょうか。 C: やさしいことをしたらうれしくなるのだと思います。 C: 家族が一緒だと楽しいからだだと思います。</p> <p>4 授業のふりかえりをし、次時への意欲をもつ。 T: 家族の「にこにこ」がたくさんあるとうれしいですね。家族の「にこにこ」をもっと増やすにはどうしたらよいでしょう。 C: 「にこにこ」がいっぱいになることをいっぱいすればいいと思います。 T: では、「にこにこだいさくせん」をしましょう。どんなことをしたいのか、どうしてなのか、カードに書きましょう。 T: 次の時間は、「にこにこだいさくせん」の計画を立てましょう。</p>	<p>る。 ・児童の意見を、複数発表させ、次の3つのグループに分けてカードを貼り、まとめる。 *お手伝いをする *自分のことを自分でする *楽しくなることをする</p> <p>・家族が喜ぶ理由を問うことで、家族の様子を思い浮かべながら家族の喜びについて深く考えさせる。</p> <p>・「にこにこ」が増えるとうれしい気持ちや楽しい気持ちになることから、もっと「にこにこ」を増やしたいという心境になるようにする。 ・子どもからのネーミングがあれば、それを優先し、自分事としてとらえやすくする。</p>	<p>身近な環境や自分についての気付き</p> <p>A 自分でできることや自分の役割があることに気付くとともに、友だちのよさに気付いている。</p> <p>B 自分でできることや自分の役割があることに気付いている。 (行動観察・発言・振り返りカード)</p>
---------------------	--	---	--

(4) 板書計画

9がつ14にち

家の人の「にこにこ」はどんなときかな？

にこにこだいさくせんをしよう！

おてつだいをする
(にこにこカードを貼る。)

じぶんのことをじぶんでする
(にこにこカードを貼る。)

たのしくなることをする
(にこにこカードを貼る。)